

教育と環境の

さわやか

「爽」企画室

会報 第60号

2011.1

発行 / 教育と環境の「爽」企画室・代表 片桐 和子

電話: 025-260-0568 / F AX : 025-260-0568

E-mail: [sawa@topaz.plala.or.jp](mailto:sawa@topaz.plala.or.jp)

URL: <http://www.14.plala.or.jp/sawayaka-kikaku/>



日本からのクリスマス・プレゼントを手に、笑顔のホームの子どもたち

## 新年 明けましておめでとうございます！

### 本年も「爽」企画室のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします

跳躍の卯年、2011年が極寒の中、スタートいたしました。

昨年中は、私どもの活動にご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

2010年度の活動はほぼ終了し、1月から3月は、本年度のまとめと新しい年度を視野に入れた3か月となります。ご支援くださる皆さまのより一層のご鞭撻をお願い申し上げます。

「なぜインドに支援を？」と言われながらも、路上暮らしをする子どもたちに安らぎと温かい食事をと、1棟のホーム造りから始めた活動でした。あの子どもたちとの衝撃的な出会いから13年経ち、赤土の荒野の中に、オアシスのように緑滴る、子どもたちの歓声が響く、「夢と希望の楽園」が出来上がりました。

今や世界は、進化し続けるインド、広大な大地に12億の民を有するインドから目を離せぬまでになりました。私どもの蒔いた種は、近い将来、必ずや日印友好と相互発展に寄与するに相違ありません。

インドの「子どもの憩いの村」で建設中の学校は、本年、2011年6月に建物が完成します。インドでは6月が新学期となっており、子どもたちは、開校を今か今かと待ちわびています。州認可がおりたとはいえ、3年の試行期間は、一切の補助はなく、自力で運営し、教員の給料を調達しなければなりません。

子どもたちの夢と希望に応えるべく、今後とも、皆様の大きなお力添えをお願い申し上げます。

2011年 正月

教育と環境の「<sup>さわやか</sup>爽」企画室 代表 片桐 和子

## 2010年度 下半期の活動

月	日	曜	行事名	開催場所(主催者)	テーマ・内容
8	1~8	日 ~ 日	インド・スタディツアー実施	インド・「子どもの憩いの村」他	・日本の教員による授業 ・日本のカレーの給食作り ・子ども、スタッフと交流
8	19	木	講演・懇談会	新潟市立上山中学校	・生徒会役員に、「子どもの憩いの村」について語る
8	28	土	インド・スタディツアー帰国交歓会	クロスパルにいがた	・参加者の活動実践報告 ・バザー物品準備
9	4~5	土 ~ 日	新潟国際フェスティバル	新潟ふるさと村 (にいがたNGOネットワーク)	・テーマ~新潟から世界へ愛を~一般へのアピール ・パネル展示、ステージ発表、フェアトレード
9	6	月	インド・スタディツアー「帰国報告書」完成 配布	教育と環境の「爽」企画室・発行	「インドの子らに輝く未来を」参加者レポートと写真集
10	3	日	チャリティコンサート	新潟テルサ (世界の恵まれない地域に小学校を作る会)	・「小学校を作る会」は、収益金の一部を、インドの「子どもの憩いの村」の学校建設に、ご寄付くださいます。
10	8	金	帰国報告書による、スタディツアー実施報告	新潟県知事、県国際課 新潟市長、市国際課等訪問	後援、助成のお礼
10	9	土	公開講座	新潟医療技術専門学校	テーマ「思い続ければ夢はかなう」~インドに「子どもの憩いの村」建設を~
10	23	土	インド・スタディツアー帰国報告会	クロスパルにいがた	帰国報告一般公開 県、市の関係各位来賓
10	22~24	金 ~ 日	新潟市国際交流・協力団体展示発表会	クロスパルにいがた (新潟市国際交流協会)	パネル展示
11	5	金	講演	イタリア軒 (新潟南ライオンズクラブ)	テーマ「思い続ければ夢はかなう」~憩いの村の活動について~
11	18	木	講演、授業参観講評	佐渡市立羽茂中学校	テーマ「思い続ければ夢はかなう」~インドに蒔いた種~
11	26	金	総合学習・講演	新潟市立上山小学校	「インド・子どもの憩いの村」の子どもたちについて
12	16	木	ホームの子どもにクリスマス・プレゼントを発送	教育と環境の「爽」企画室	善意の方々から頂いた品々を大箱4個に詰め 発送。クリスマス・イブに届き、子どもたちに贈られた。

7月下旬から8月下旬にかけて、新潟市の中心部にある住友信託銀行のショウウィンドーやロビーで、インドの「子どもの憩いの村」の活動パネル展示会を開催いたしました。その他、新聞やラジオで報道されたり、新潟南ライオンズクラブ、新潟医療技術専門学校等、異業種の団体からも講演の依頼があったりと、一般市民への認知が広がりつつあることは、大変ありがたいことだと思います。

2009年の第21回毎日国際交流賞受賞を記念しての新潟県知事や新潟市長への表敬訪問、州政府認可学校建設状況視察を兼ねたサマー・スタディツアーやクリスマス・プレゼントの様子など、いくつかを写真でご紹介いたします。なお、これらは、私どものHPに掲載しておりますのでご覧ください。

2011 年正月

ご支援して下さる皆さまへ

教育と環境の「<sup>さわやか</sup>爽」企画室

片桐 昭吾・和子

## 州認可学校設備・備品・教員給料援助金ご寄付のお願い

謹啓

新春を迎え、皆さま、ますますご清祥のこととお慶び申しあげます。

インドの「子どもの憩いの村」に建設中の新しい学校は、2011年6月に建物が完成し、開校の予定となっており、現在、急ピッチで工事は進行しております。

開校するためには、教育設備・備品の購入・設置を急がなければなりません。今までのように、冷たい土間に座っての学習でなく、机・いすを使って、授業を受けられるようにしたいのです。黒板や特別教室備品も必要です。衛生上の問題から、飲み水、手洗い、トイレのために、井戸の掘削、ポンプ、屋上貯水タンク、浄化槽、排水溝等々、やらなければならないことが山積しています。水洗トイレ設備のためには、すでに200万円を投入していますが、さらに多額の費用がかかることは明白です。

また、私立小・中学校が認可されたとはいえ、州政府から、先生方の給料の補助金や学校の運営費の助成を得るには、3年の試行期間が義務付けられており、その期間は、自力で乗り越え、教育実績をあげることが必要です。この3年を乗り切れば、州政府が未長く補助金を出してくれます。そのために、多くの資金を調達し、優秀な教員14人を雇用する給料と学校の維持経費を確保することが当面の大きな課題です。今後の安定した学校運営と、子どもたちの将来のために、今が正念場です。

近隣農村の住民も、地域文化の象徴ともなる、先進的な学校の開校を、一日千秋の思いで待ち望んでいます。貧しく幼い子どもたちには、世界中が手を差し伸べなくてはなりません。それは、それぞれの国の政府がやることだと、手をこまねいているわけにはいきません。親のない子も、恵まれない地域の子も、世界共有の未来財産なのです。

以上のことから、必要経費が多く、費用捻出に頭を痛める日々が続きます。私どもは無論、老骨に鞭打ち、命がけで頑張りますが、どうか、皆さまの温かいご支援を心からお願い申しあげます。皆さまからお寄せいただいた浄財は、全額をインドに送金し、1円たりとも、他の経費等に使われることはありません。皆さまの善意を誠実に実行することが、私どもの使命なのです。あなた様が「日本のタイガーマスク」となり、「インドの児童養護施設」に温かい眼差しを注いでくださることを願っております。

謹白